

中小企業景況調査報告書

(第106回)

平成19年 4 ~ 6 月期 実 績

平成19年 7 ~ 9 月期 見通し

平成19年 7 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

・ 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成19年6月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成19年4～6月期実績及び平成19年7～9月期の見通し

2. 調 査 対 象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	42	61	47	76	51	277
中 規 模	19	12	31	20	27	109
合 計	61	73	78	96	78	386
構成比(%)	15.8	18.9	20.2	24.9	20.2	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 24社、建設業 18社、卸売業 9社、
小売業 19社、サービス業 34社、合計 104社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

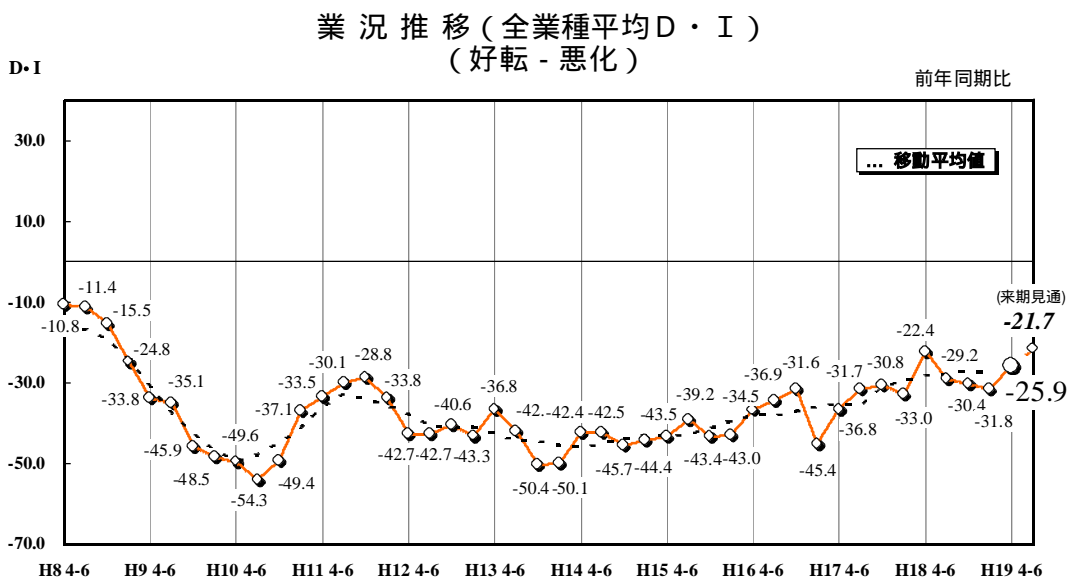
- 業況は改善傾向で推移 -

今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（4月～6月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の業況）では 15.2、前年同期比（平成18年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 25.9と、業況は依然マイナスの水準となっているが、マイナスの幅は改善傾向で推移している。

業種別では、前年同期比で製造 34.3、建設 24.6、卸売 15.6、小売 25.3、サービス 29.7と、いずれもマイナスの水準で推移したが、建設、卸売、小売、サービスで前回調査時よりマイナス幅が改善された。一方、製造業ではマイナス幅が拡大した。

前回の調査（平成19年1月～3月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 29.6 今回 15.2とマイナス幅が改善しており、また、前年同期比でも前回 31.8 今回 25.9と5.9ポイントマイナス幅が改善している。



業況を札幌市と札幌以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 20.3（前回調査 30.6）、札幌以外の地域 31.9（前回調査 34.3）となっており、札幌市に比べて札幌市以外の地域でマイナスの幅が大きくなっている。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成18年7月～9月期の水準と比較した来期の見通し）では 21.7と、今期の水準（ 25.9）より4.2ポイント改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として各企業が1位に挙げているのは、景気の低迷による「需要の停滞」が全業種で高いウエイトを占めているが、製造業では「原材料価格の上昇」（28.5%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（18.9%）、「材料単価の上昇」（18.9%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（13.4%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（24.3%）、サービス業では「大企業の進出による競争の激化」（12.7%）などの問題点が浮上している。

設備投資については、景気の低迷による先行き不透明感などから、依然、慎重な動きが続いている。（今期に設備投資を行った企業は全業種平均で12.9%）

業界動向調査における企業の声では、製造業からは依然「原材料価格の上昇」「製品価格の低下」による採算・業況悪化を訴える声が多い。また、建設業からは「公共工事の減少」による売上の低下や「請負単価の低下・材料費の上昇」による採算の悪化の声が寄せられている。

卸売業からは「6月の高温」による夏物商品の動きが売上に寄与したとの声があるが、依然、「販売単価の低下や仕入価格の上昇」などから業況の回復には至っていないとの声が多い。また、小売業では「大型店の影響」等による購買力の流出、中心市街地の衰退の影響、「個人消費の低迷」などによる売上の減少などを訴える声も寄せられている。サービス業からは、「燃料の高騰」や「利用客の減少」による売上・採算の悪化を訴える声が出ている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 34.3（来期見通し 32.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成19年1月～3月期）時点からの推移では、前回 29.1 今回 34.3と5.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「原材料価格の上昇」「製品価格の低下」による採算・業況悪化を訴える声がある一方、鉄鋼関連については引き続き好調持続しているという声も寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・北洋漁業の操業不安、水揚げ量の減少から加工原魚の確保が難しくなっている。魚価の上昇による調達コスト増により状況は厳しい。（水産加工）
- ・燃料やウッドチップ原料が高騰し、製造コストの上昇に加え流通コストも上昇し、商品価格への転嫁とのズレが利益を圧迫している。（紙パルプ）
- ・前年同月に対し受注量は横ばいだが、単価が下がっているので売上高は減少している。原油の高

騰により昨年夏以降、大手の製紙会社が三度の値上げを行なっているが、販売価格に転嫁できない。(印刷業)

- ・今年に入り、仕入れ価格が値上がりし、商品に反映できず、利益が減少している。(家具建具)
- ・引き続き好調に推移。従業員の高齢化や熟練技術者の確保が課題。(鉄鋼)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 24.6(来期見通し 18.2)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成19年1月～3月期)時点からの推移では、前回 39.6 今回 24.6と15.0ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「公共工事の減少」による売上の低下や「請負単価の低下・材料費の上昇」による採算の悪化の声がある一方、一部では民間建築などが好調との声も出ている。

〔主なコメント〕

- ・公共工事の削減により売上が低下している。民間建築工事はホテル・戸建などが好調だが、競争の激化により利益幅が縮小している。(建設)
- ・前年同月に対し売上は減少している。公共工事は相変わらず低調だが、市のリフォーム助成金の利用が好評のため一戸建てのリフォームが順調に推移。(一般工事)
- ・受注面は官民共に低調。高留りの仕入単価の影響もあり、採算面も引き続き苦しい状況で、従業員数には過剰感がある。(一般工事)

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 15.6(来期見通 14.8)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成19年1月～3月期)時点からの推移では、前回 19.5 今回 15.6と3.9ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「6月の高温」による夏物商品の動きが売上に寄与したとの声があるが、依然、「販売単価の低下や仕入価格の上昇」などから、業界全体としては、業況の回復には至っていないとの声が多い。

〔主なコメント〕

- ・6月中旬の高温で夏物商品の動きがあったが、依然景気の回復感は乏しく、売上は前年並み。(卸売)
- ・前年同月に対し売上は若干増・収益は低下している。肥料・飼料共に仕入値の高騰が続き価格に転嫁しきれていないので、売上は上がったが収益は減少している。(農業資材)
- ・5月後半からの野菜果実の販売価格の低下(供給過剰=晩春からの全国的な好天による)から、荷動きの低下をまねき収益が悪化した。(農畜産物)
- ・需要の減少や売上単価の減少により業況も依然厳しい。(衣服)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 25.3(来期見通 21.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成19年1月～3月期)時点からの推移では、前回 28.1 今回 25.3と2.8ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出、中心市街地の衰退の影響、「個人消費の低迷」などによる売上の減少などを訴える声が多く寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・中心商店街の核店舗を含む各個店とも、昨年度と比較して売上は減少している。（商店街）
- ・中心市街地の衰退が続いている。空き地空店舗にビジネスホテルは進出するが商業施設の出店はない。中心部の集客力が落ち、周辺のサービス業にも影響が出ている。（商業）
- ・消費者の生活防衛意識が強い。原油高騰の関係から仕入単価は上昇傾向が続いている。（小売）
- ・利益は横ばい、売上高は増加すると見ている。需要は全体的に向上している。（大型店）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 29.7（来期見通 22.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成19年1月～3月期）時点からの推移では、前回 43.0 今回 29.7と13.3ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは「燃料の高騰」や「利用客の減少」による売上の減少、採算の悪化を訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・海運、陸運の燃料高騰によりコストの吸収は限界。価格の転嫁はかなり難しい。（運輸）
- ・ディーラーの新車販売不振により、自動車整備門を強化する動きがでており、この煽りを受けて自動車整備専門工場は厳しい経営環境が続いている。（自動車整備）
- ・売上は横ばいであるが、燃料高騰のため収益は減少。観光シーズンの6・7月に期待。社員の所得が安定しないため離職者が多い。大都市の一部で進められている禁煙車を導入したが、地方では時期尚早だったのか浸透しなかった。（ハイヤー）
- ・大型飲食チェーンの煽りを受け、廃業に追い込まれる企業が出てきている。（飲食）
- ・本州からの個人・団体客ともに大きく減少したことにより業況は悪化した。（ホテル）

道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

道内各商工会議所の相談窓口（中小企業相談所）からみた状況については、依然、景気の低迷による後ろ向きな相談案件が目立つが、創業に関する相談や設備資金に関する案件も徐々に見られるようになっている。

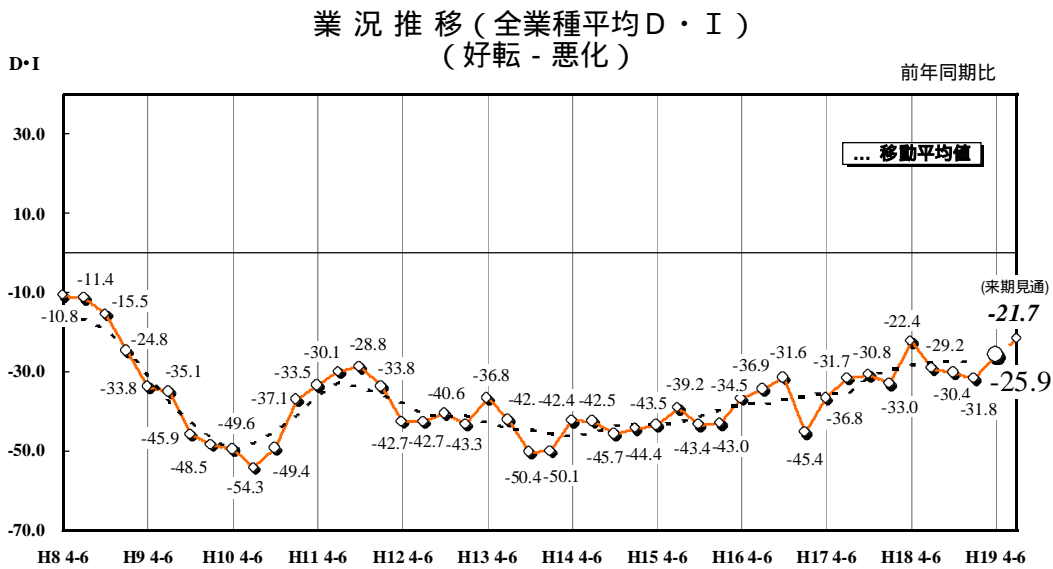
金融斡旋状況では、小規模事業者向けの経営改善資金（マル経資金）は、地域によってばらつきが見られるが、年度累計では前年同期比で減少している地域が多い。民間金融機関などの金融商品の利用など需要が分散しいてるとの声が聞かれる。

また、道の制度資金についても、地域間のばらつきがあるが、年度累計では前年同期比では減少している地域が多く見られる。

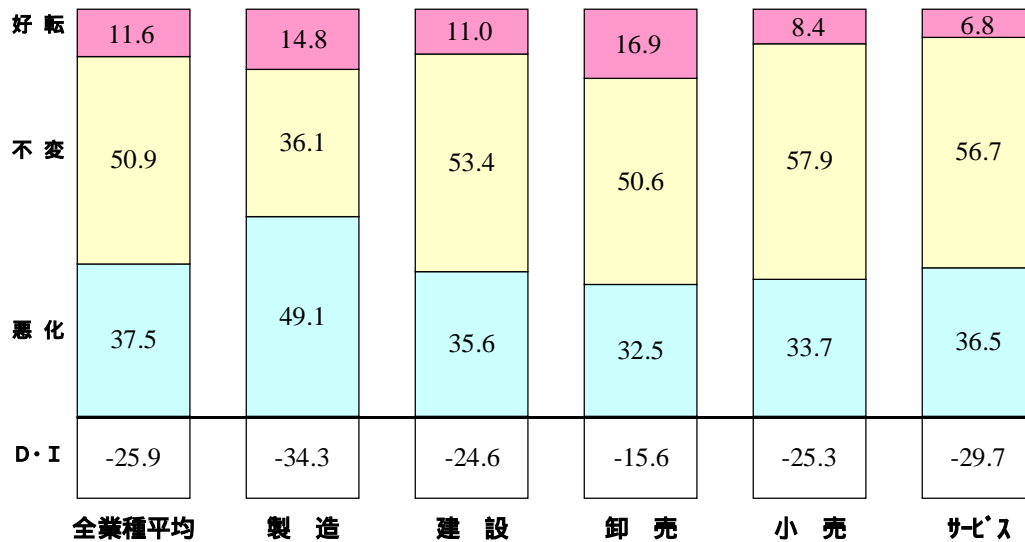
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した今期の業況）



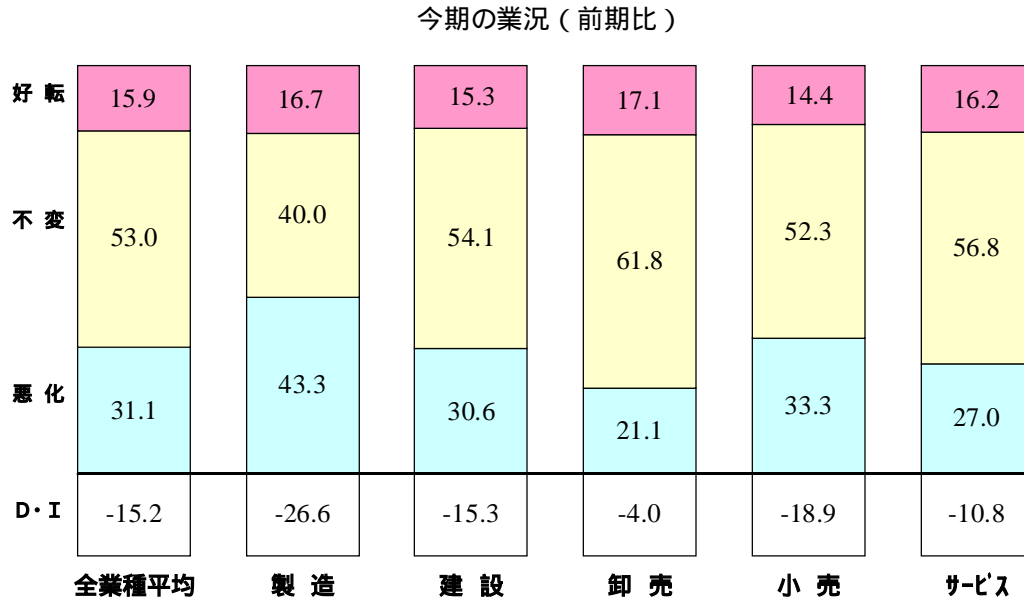
今期の業況（前年同期比）



全業種平均でD・I値 25.9〔前回調査時（平成19年1～3月期 31.8）5.9ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.1 34.3〕、建設〔前回 39.6 24.6〕
卸売〔前回 19.5 15.6〕、小売〔前回 28.1 25.3〕
サービス〔前回 43.0 29.7〕

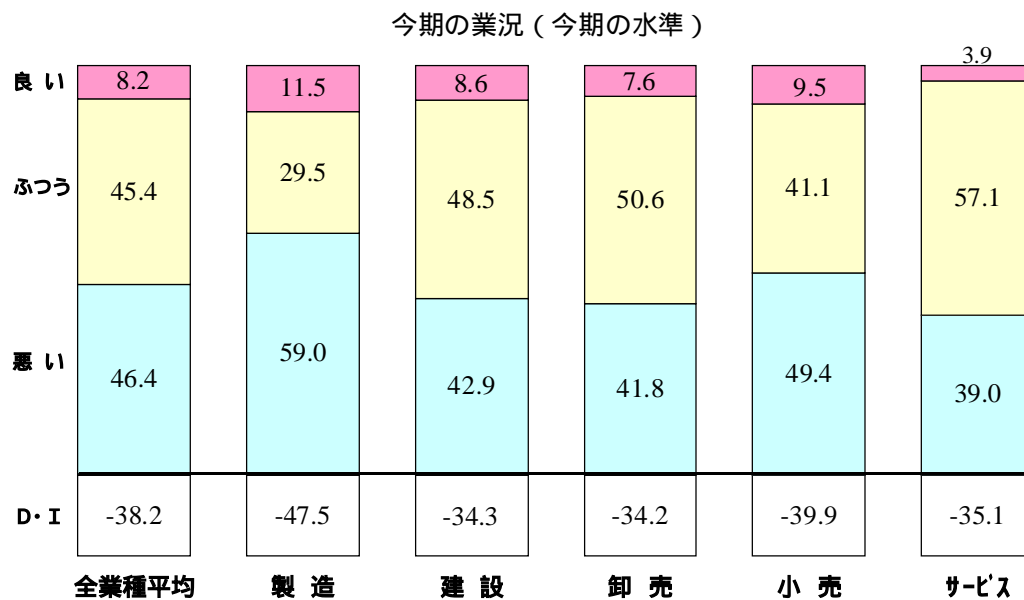
【前期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 15.2〔前回調査時（平成19年1～3月期 29.6）より14.4ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.3 26.6〕、建設〔前回 35.8 15.3〕
卸売〔前回 28.6 4.0〕、小売〔前回 18.4 18.9〕
サービス〔前回 35.7 10.8〕

【今期の水準】

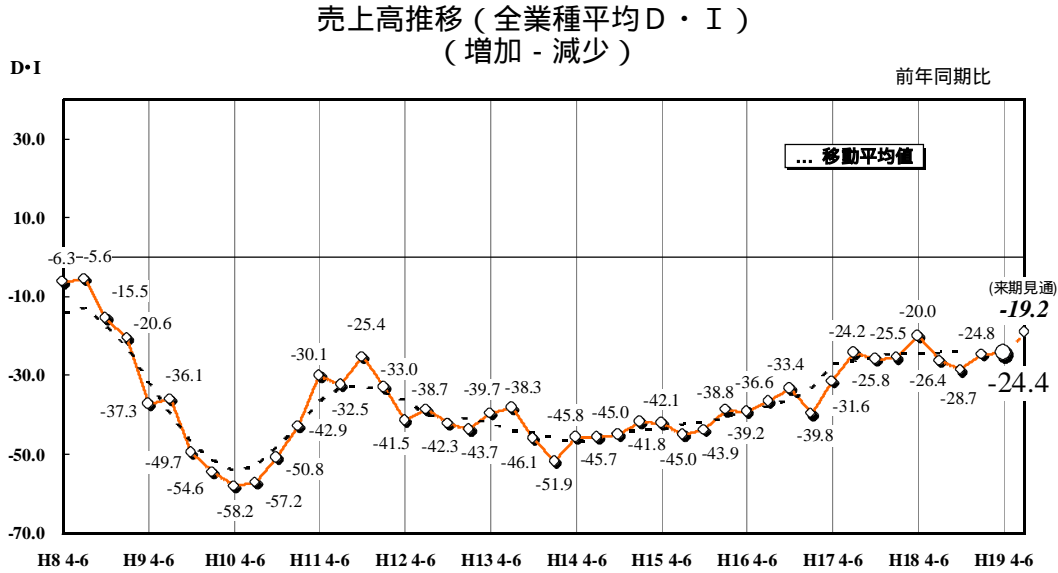


全業種平均でD・I値 38.2〔前回調査時（平成19年1～3月期 39.4）より1.2ポイントマイナス幅が改善〕。

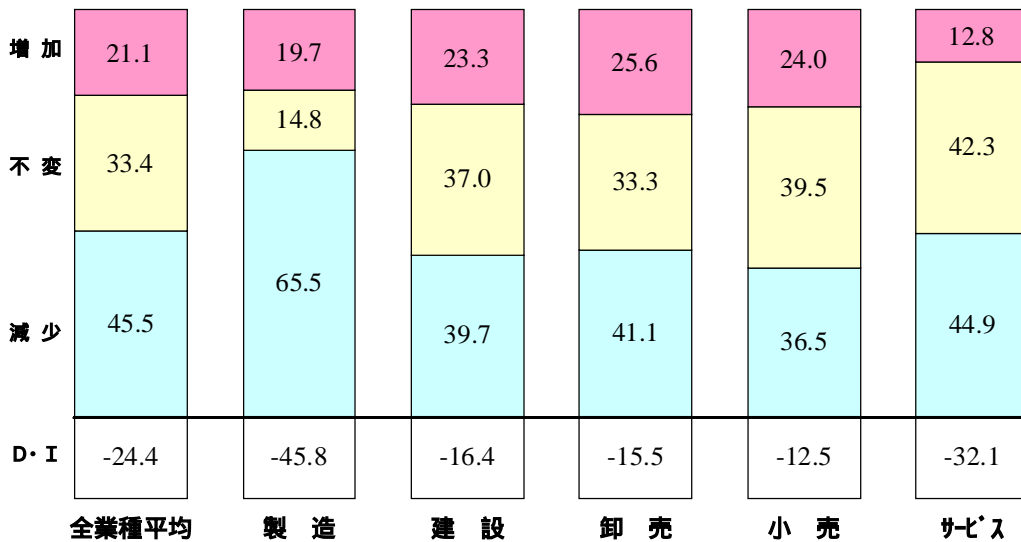
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 41.7 47.5〕、建設〔前回 44.9 34.3〕
卸売〔前回 29.5 34.2〕、小売〔前回 38.9 39.9〕
サービス〔前回 42.0 35.1〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）



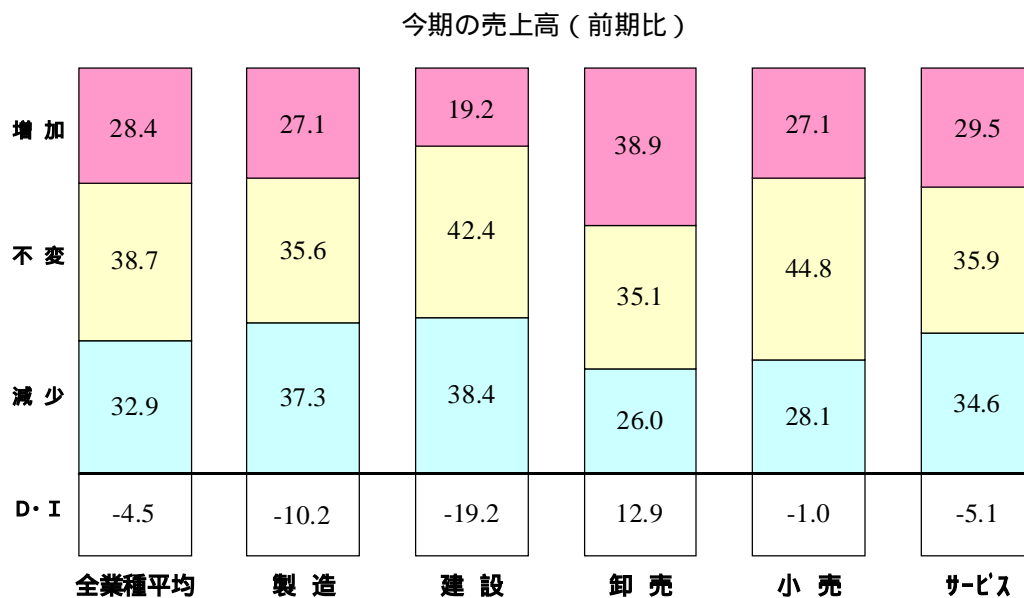
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 24.4〔前回調査時（平成19年1～3月期 24.8）より0.4ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.8 45.8〕、建設〔前回 14.9 16.4〕
卸売〔前回 13.0 15.5〕、小売〔前回 25.9 12.5〕
サービス〔前回 31.5 32.1〕

【前期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）

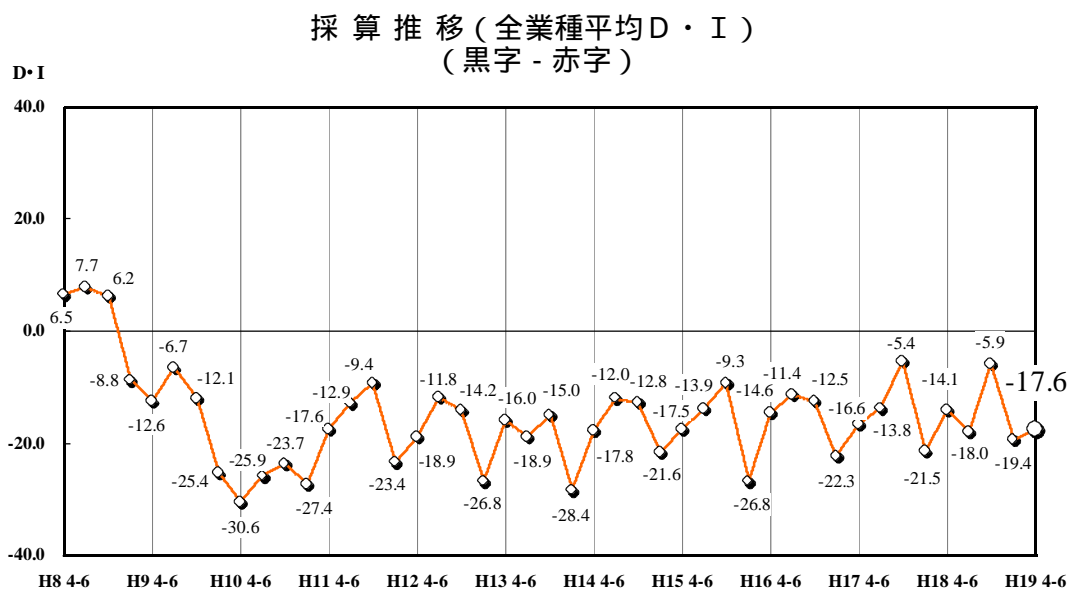


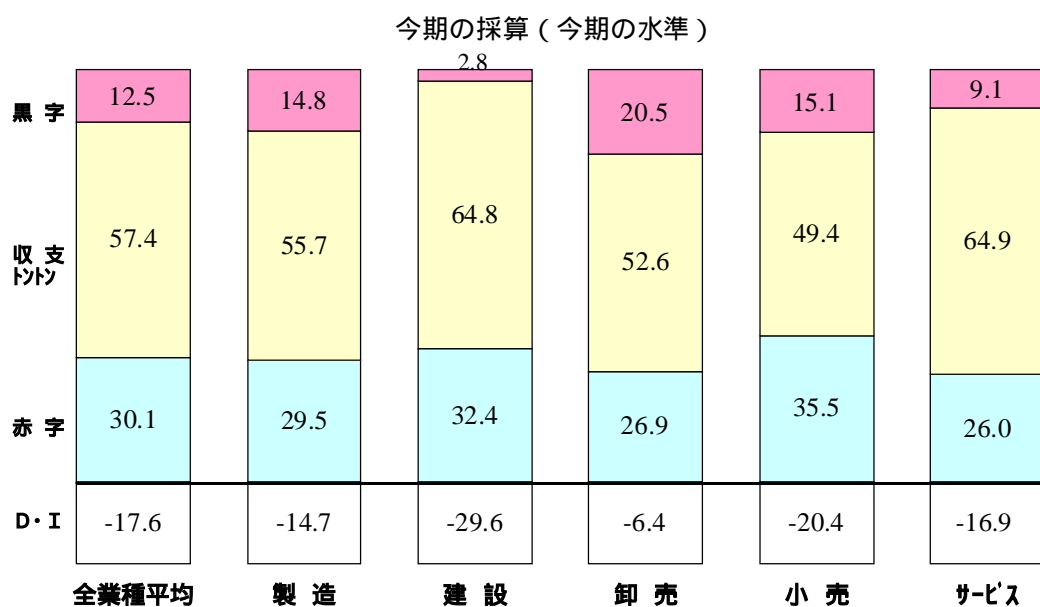
全業種平均でD・I値 4.5〔前回調査時（平成19年1～3月期 41.8）より37.3ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 53.3 10.2〕、建設〔前回 41.2 19.2〕
 卸売〔前回 40.2 12.9〕、小売〔前回 41.5 1.0〕
 サービス〔前回 32.8 5.1〕

（3）今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

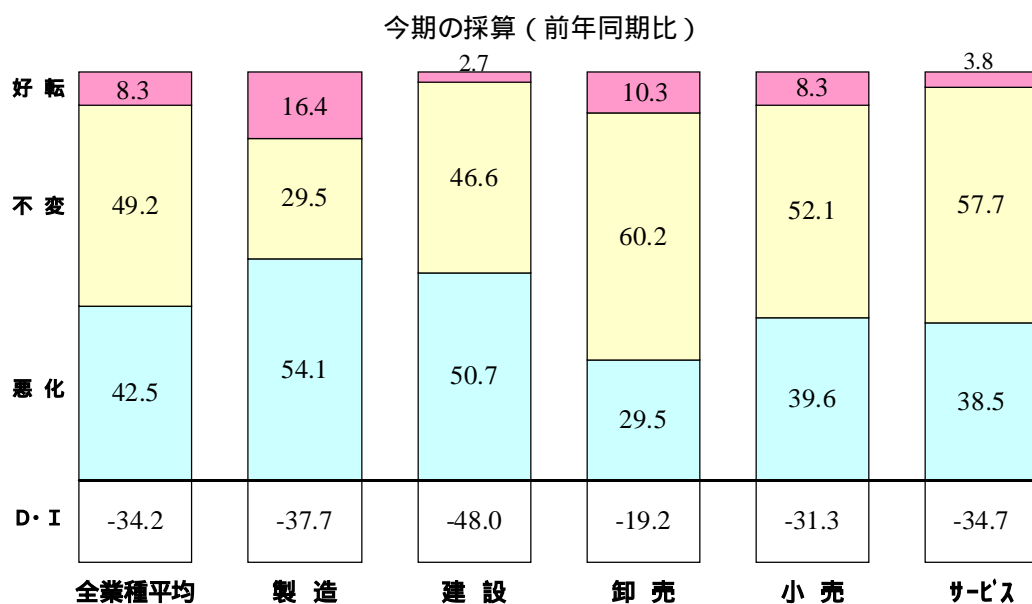




全業種平均でD・I値 17.6〔前回調査時（平成19年1～3月期 19.4）より1.8ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 20.0 14.7〕、建設〔前回 24.7 29.6〕
 卸売〔前回 5.1 6.4〕、小売〔前回 26.6 20.4〕
 サービス〔前回 20.3 16.9〕

【前年同期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した今期の採算）

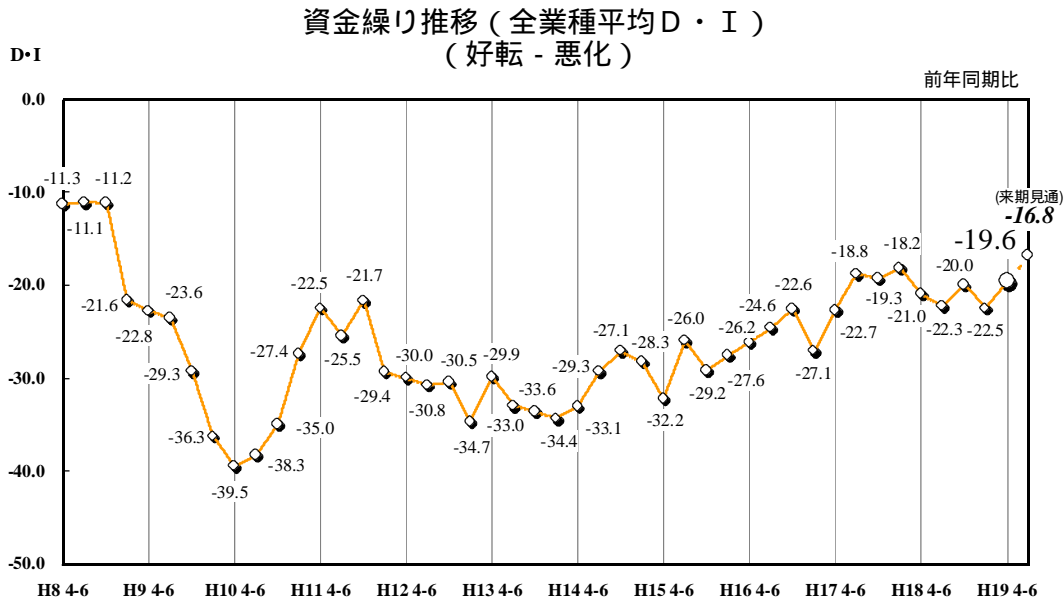


全業種平均でD・I値 34.2〔前回調査時（平成19年1～3月期 34.5）より0.3ポイントマイナス幅が改善〕。

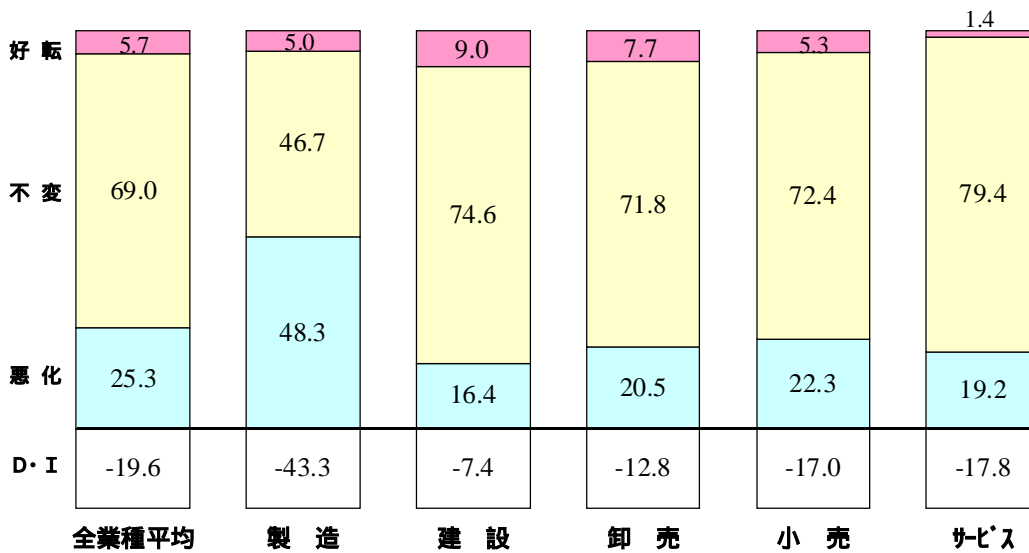
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 45.1 37.7〕、建設〔前回 47.8 48.0〕
 卸売〔前回 17.1 19.2〕、小売〔前回 33.3 31.3〕
 サービス〔前回 29.2 34.7〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



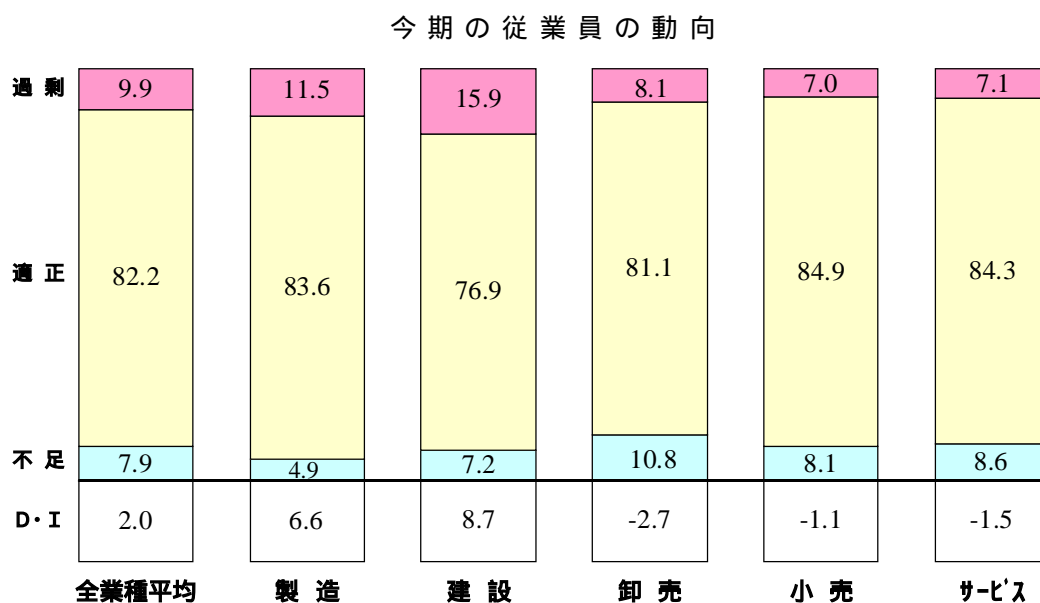
全業種平均でD・I値 19.6〔前回調査時（平成19年1～3月期 22.5）より2.9ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.7 43.3〕、建設〔前回 13.6 7.4〕
卸売〔前回 13.0 12.8〕、小売〔前回 20.2 17.0〕
サービス〔前回 26.9 17.8〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(33.8%)	[前回 32.0%]
	「原材料価格の上昇」	(28.5%)	[前回 16.1%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(14.3%)	[前回 19.6%]
建設業	「官公需要の停滞」	(24.8%)	[前回 24.7%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(18.9%)	[前回 19.7%]
	「材料単価の上昇」	(18.9%)	[前回 8.2%]
	「民間需要の停滞」	(16.0%)	[前回 23.0%]
卸売業	「需要の停滞」	(37.5%)	[前回 35.6%]
	「仕入単価の上昇」	(13.4%)	[前回 15.1%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(9.5%)	[前回 11.0%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(9.5%)	[前回 6.8%]
小売業	「大型・中型店進出競争の激化」	(24.3%)	[前回 22.7%]
	「需要の停滞」	(22.1%)	[前回 18.9%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(11.6%)	[前回 7.6%]
	「販売単価の低下上昇難」	(8.1%)	[前回 8.9%]
サービス業	「需要の停滞」	(33.2%)	[前回 33.4%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(12.7%)	[前回 13.6%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(11.1%)	[前回 6.1%]
	「熟練従業員の確保難」	(9.5%)	[前回 6.1%]

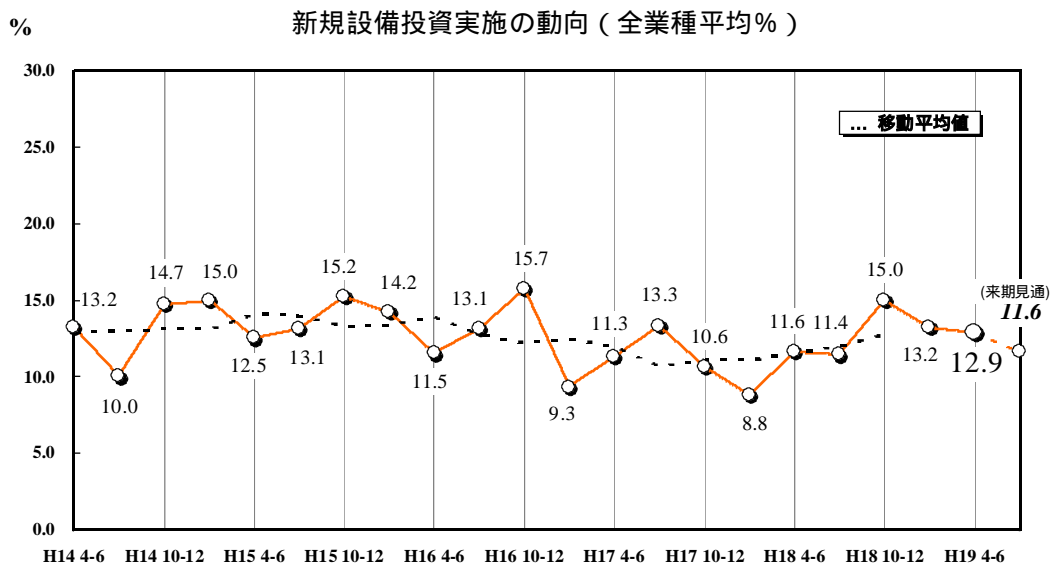
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値 2.0〔前回調査時(平成19年1～3月期 4.0)より6.0ポイント過剰に傾斜〕。また、「適正」とする企業が82.2%と大勢を占めている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 5.0 6.6〕(適正83.6%)
 建設〔前回 0.0 8.7〕(適正76.9%)
 卸売〔前回 6.7 2.7〕(適正81.1%)
 小売〔前回 3.4 1.1〕(適正84.9%)
 サービス〔前回 4.7 1.5〕(適正84.3%)

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

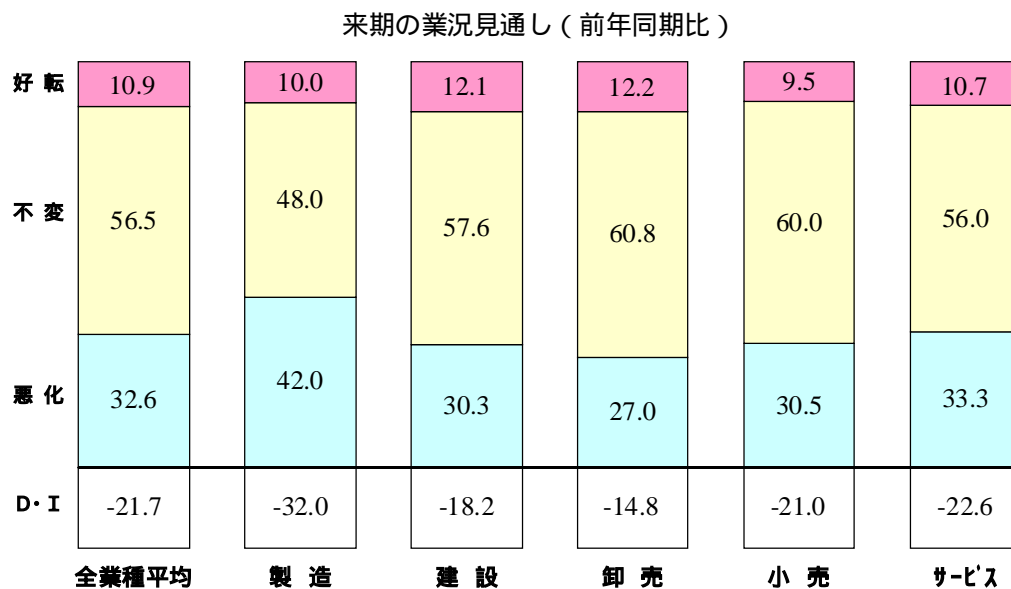
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	13.1	12.5	19.0	7.3	12.8	12.9
土地	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	4.0
工場建物、建物、店舗	0.0	22.2	13.3	28.6	0.0	12.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	37.5	11.1	26.7	14.3	20.0	21.9
車両運搬具	12.5	22.2	66.7	42.9	40.0	36.9
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	33.3	13.3	28.6	20.0	19.0
OA機器	50.0	33.3	26.7	14.3	50.0	34.9
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.5	11.1	0.0	14.3	20.0	11.6
実施していない	86.9	87.5	81.0	92.7	87.2	87.1

新たに設備投資を実施した企業は平均で**12.9%**〔前回調査時（平成19年1～3月期13.2%）より0.3%減少〕、業種別では製造〔前回16.1% 13.1%〕、建設〔前回10.3% 12.5%〕、卸売〔前回14.1% 19.0%〕、小売〔前回7.9% 7.3%〕、サービス〔前回17.8% 12.8%〕と、製造、小売、サービスで前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

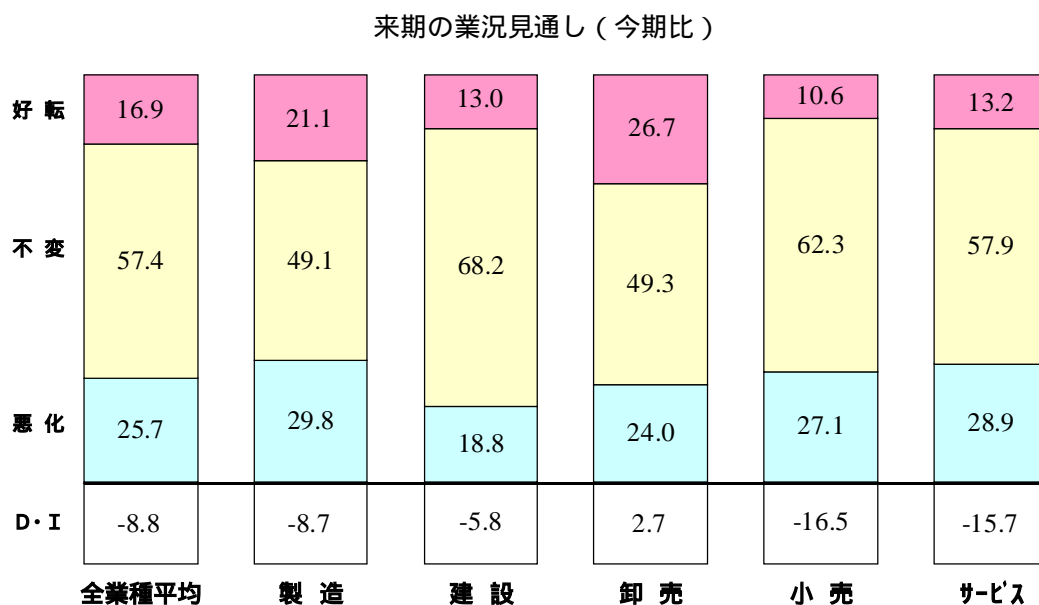
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 21.7〔今期の業況（前年同期比 25.9）より4.2ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

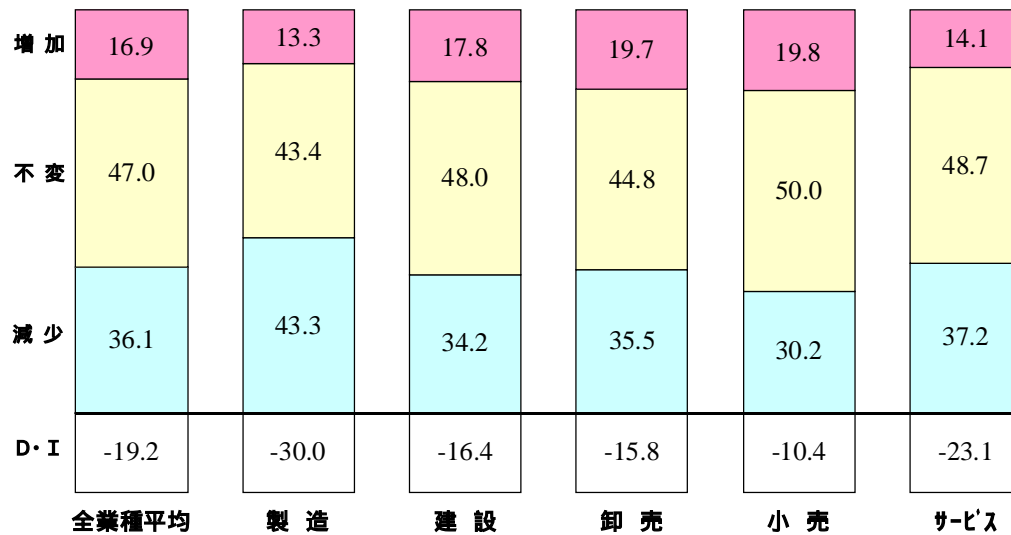
【今期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

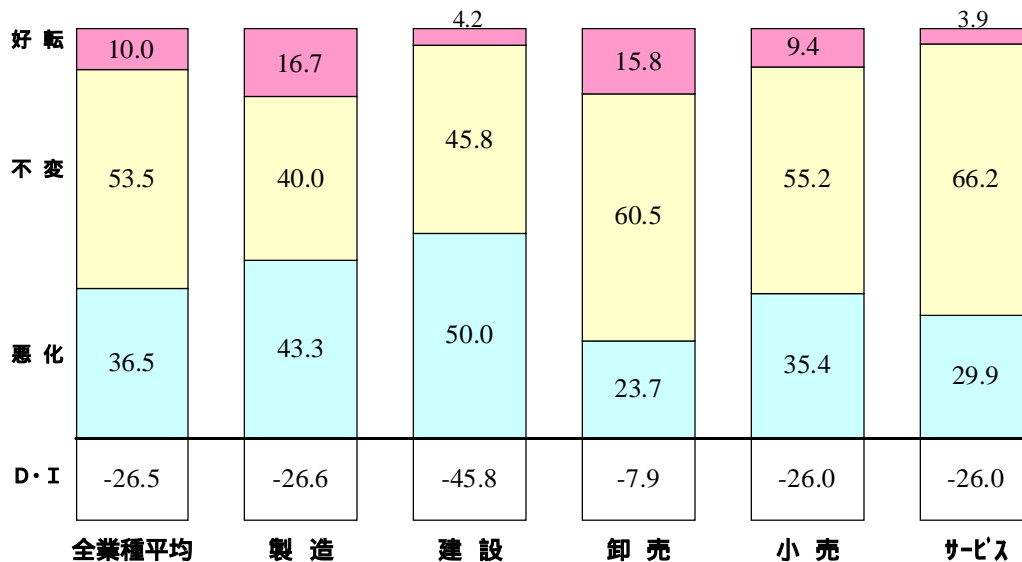


全業種平均でD・I値 19.2〔今期の売上高（前年同期比 24.4）より5.2ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 26.5〔今期の採算（前年同期比 34.2）より7.7ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

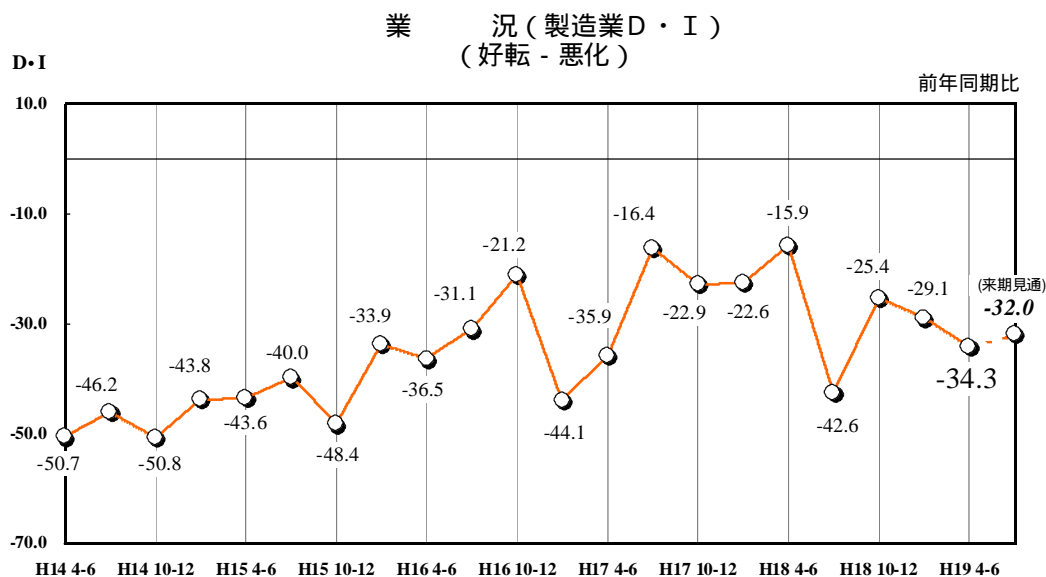
	(単位%)					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	18.0	2.8	11.4	11.6	14.3	11.6
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	9.1	0.0	11.1	18.2	0.0	7.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	54.5	0.0	33.3	0.0	54.5	28.5
車両運搬具	0.0	50.0	55.6	54.5	18.2	35.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	9.1	0.0	22.2	18.2	18.2	13.5
O A 機器	18.2	50.0	11.1	9.1	36.4	25.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	1.8
	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1
	82.0	97.2	88.6	88.4	85.7	88.4

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**11.6%**となっており、今期(12.9%)を下回る見通し。

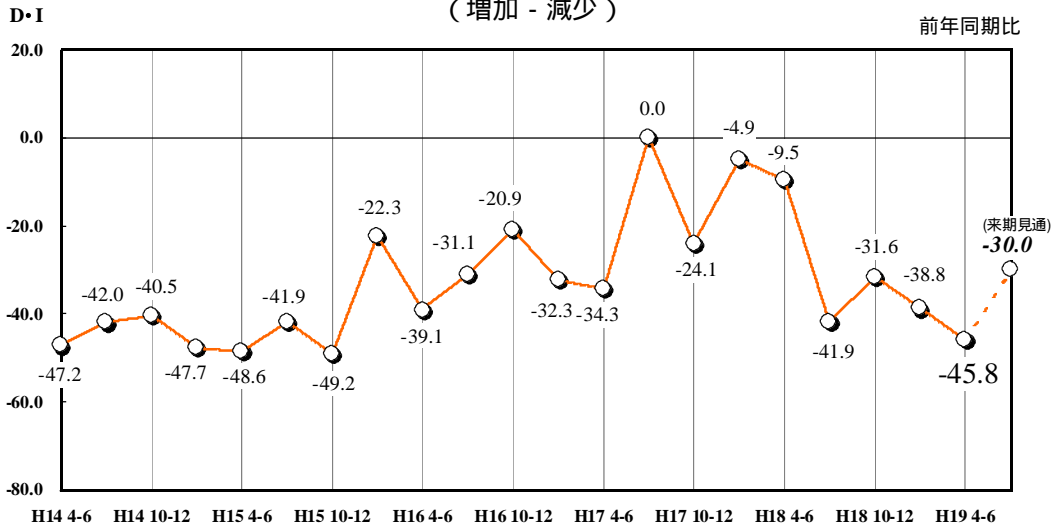
業種別では、製造〔今期13.1% 18.0%〕、建設〔今期12.5% 2.8%〕、卸売〔今期19.0% 11.4%〕、小売〔今期7.3% 11.6%〕、サービス〔今期12.8% 14.3%〕となっている。

業種別の動向

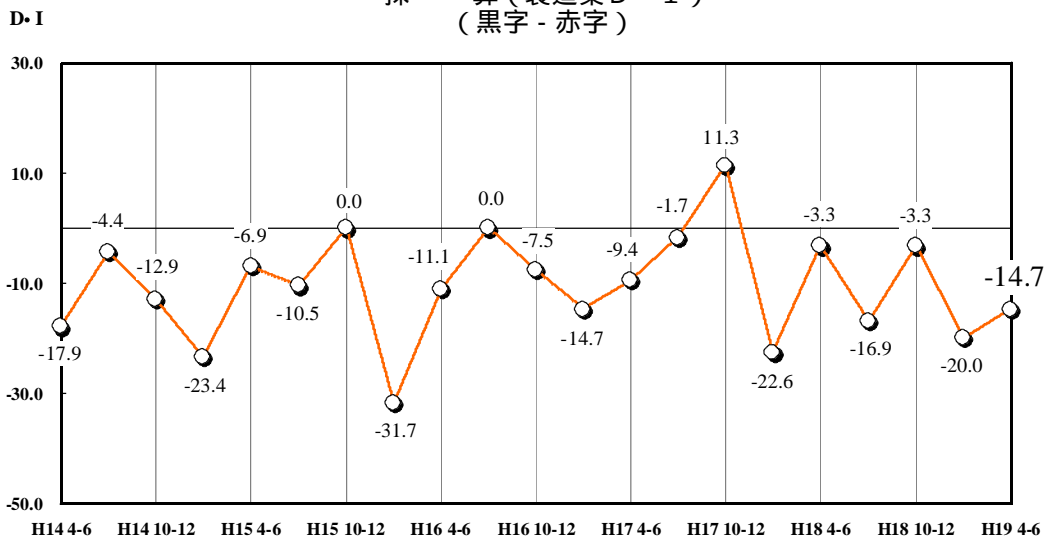
(1) 製造業



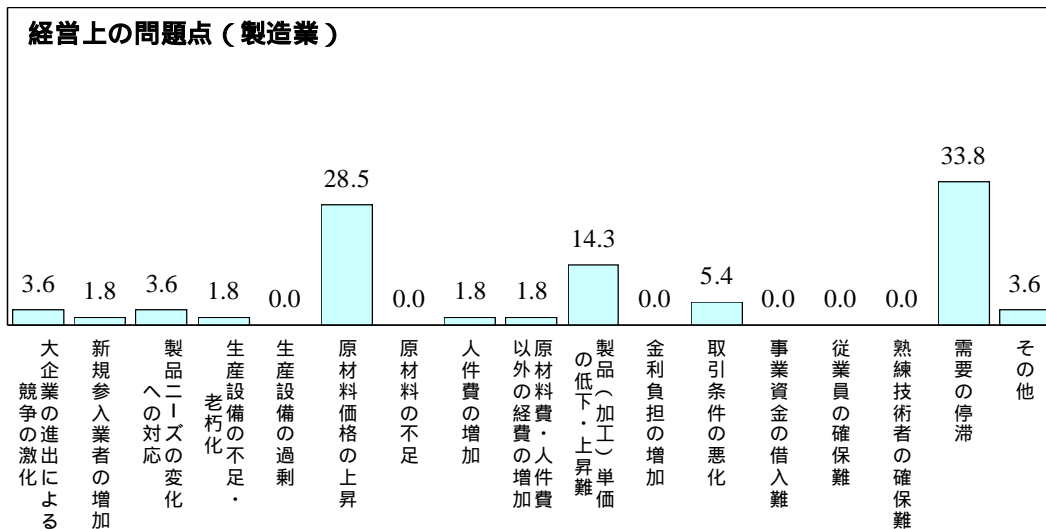
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



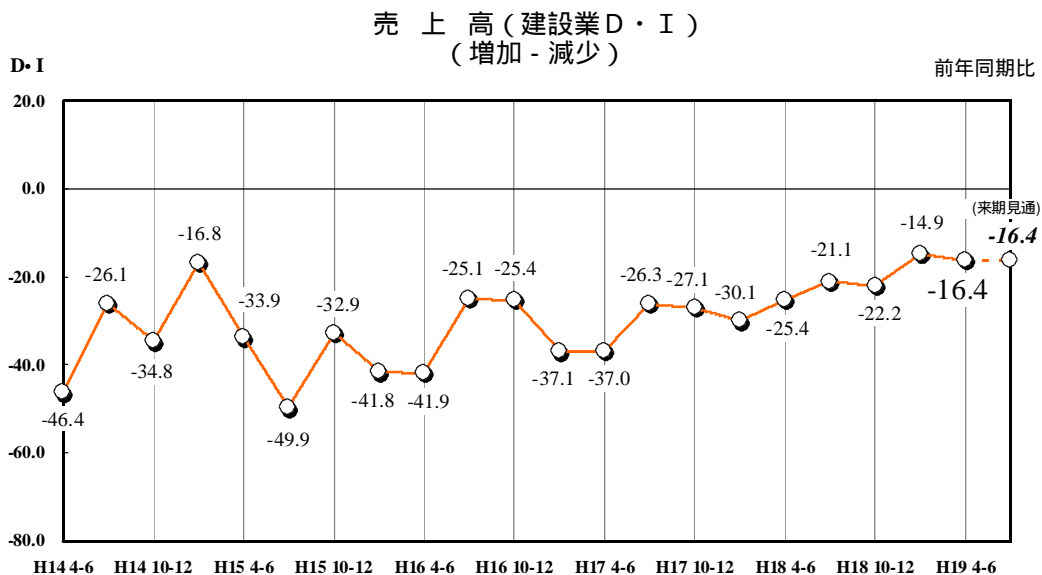
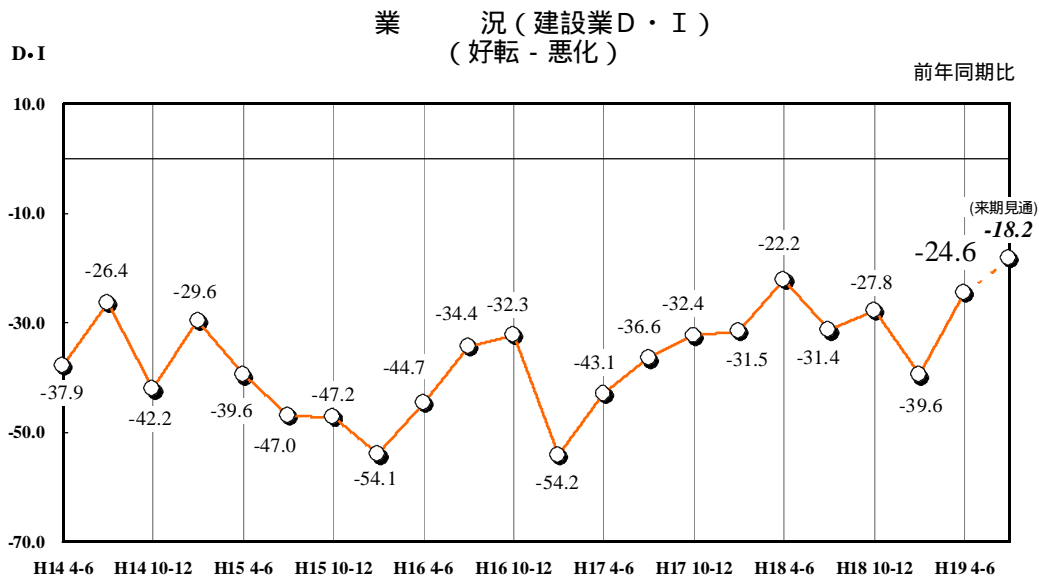
経営上の問題点



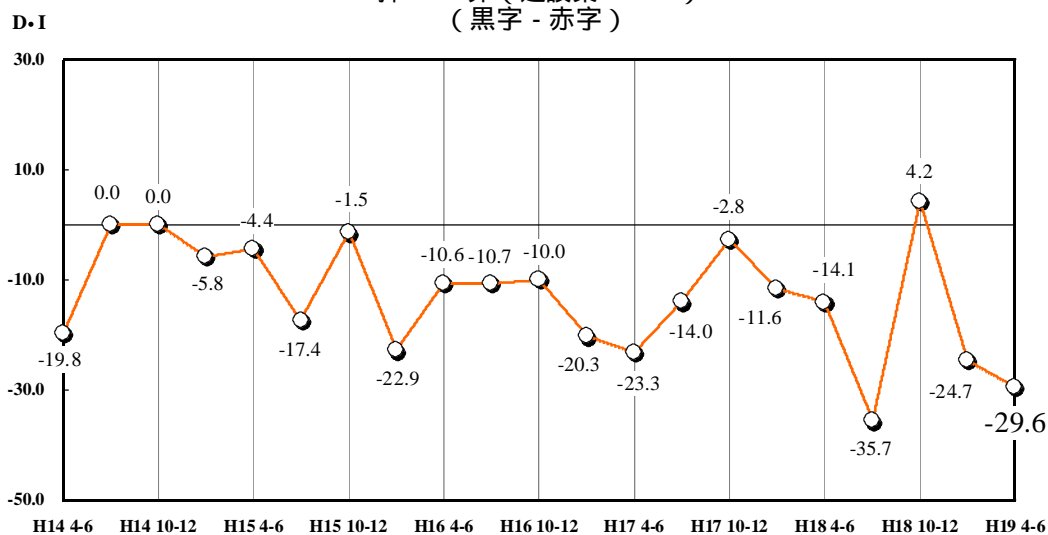
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	43.3	27.1	33.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.8	1.7 (今期比)
短期 "	-----	3.7	1.9 (今期比)
設 備 操 業 率	34.5	-----	21.8 (前年同期比)

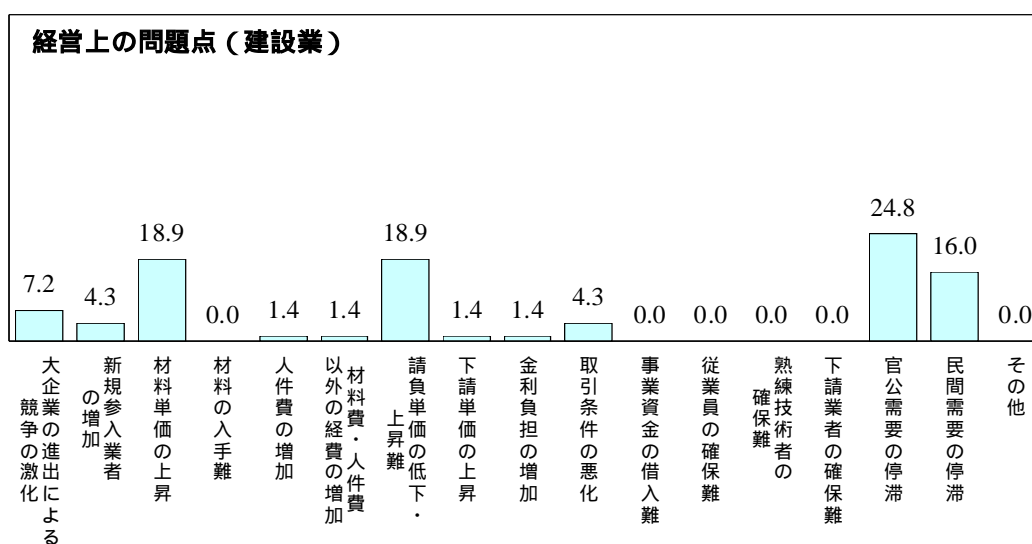
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)
(黒字 - 赤字)



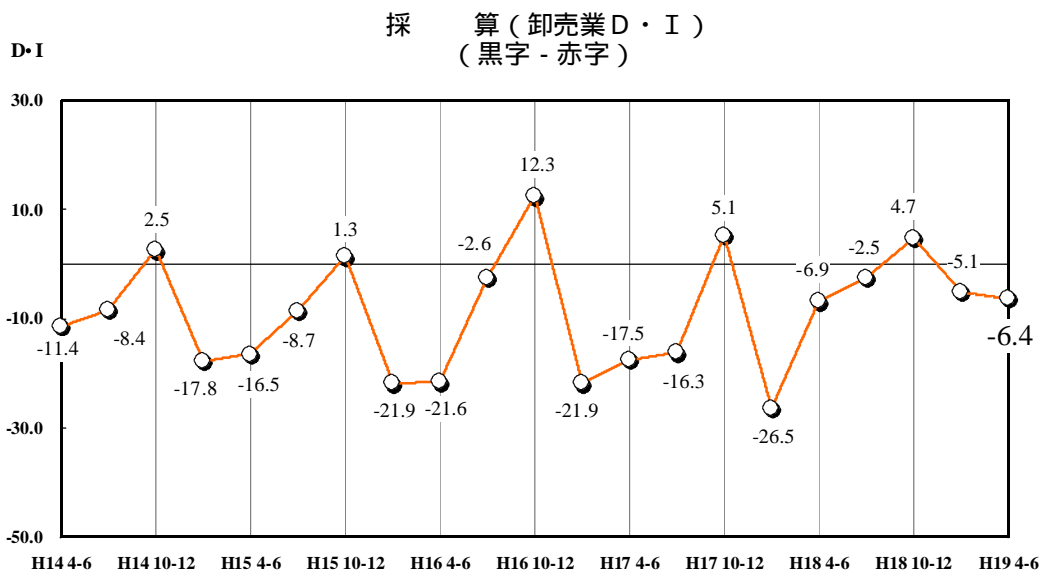
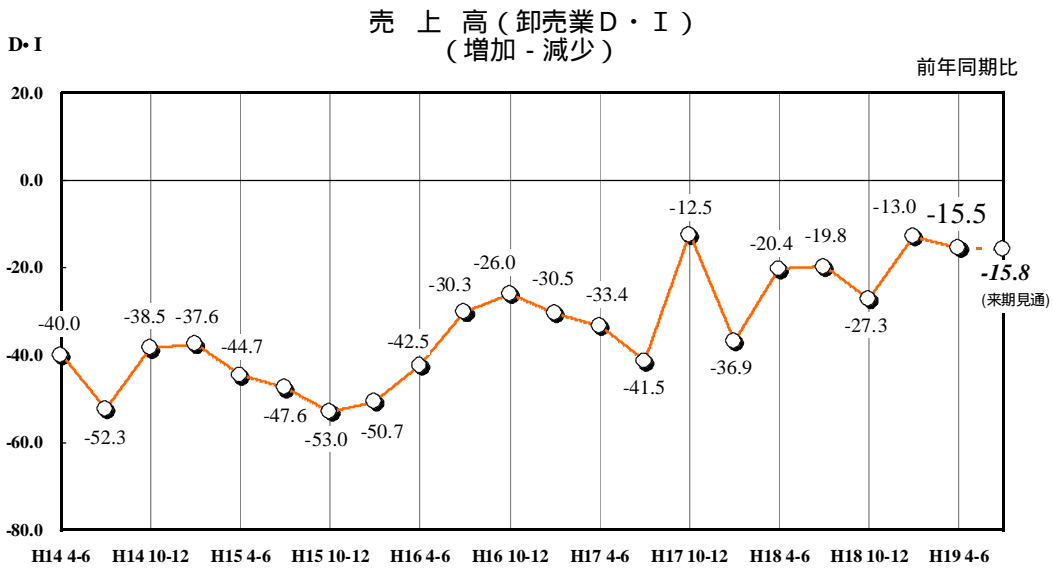
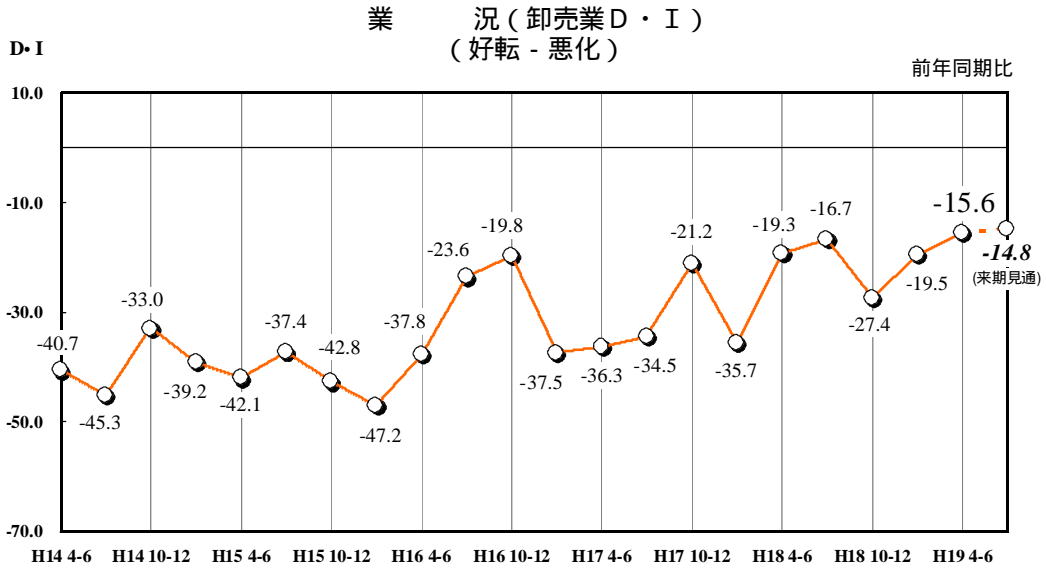
経営上の問題点



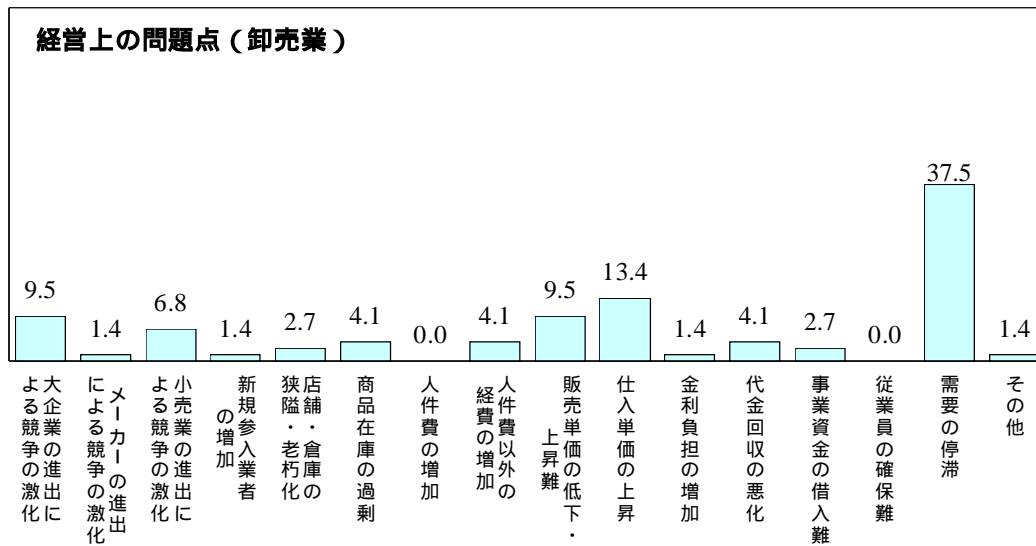
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	7.4	6.1	12.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	10.7	9.3 (今期比)
短期 "	-----	1.6	0.0 (今期比)
受注(新規契約工事)額	26.0	-----	30.6 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



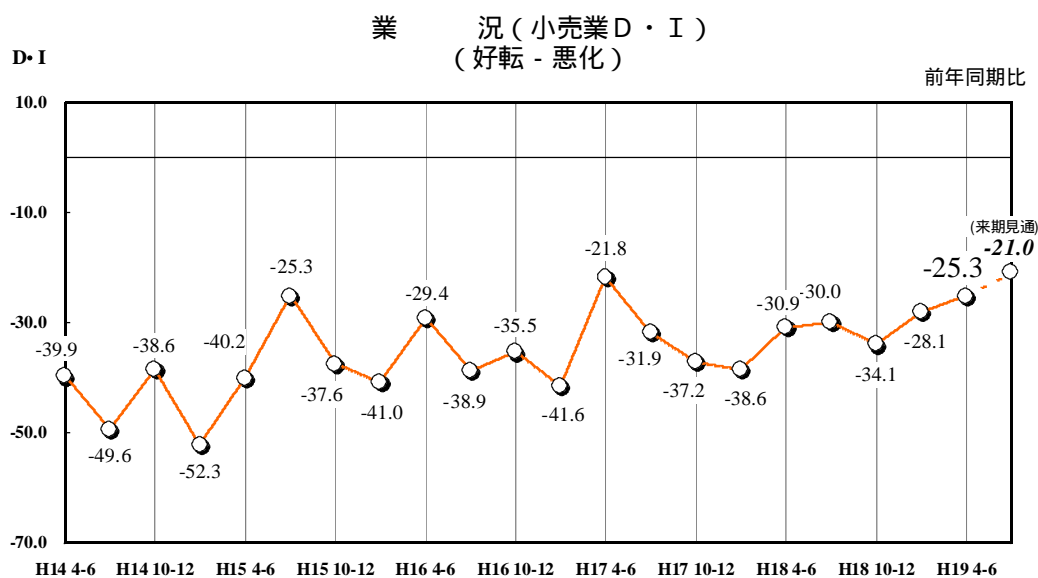
経営上の問題点



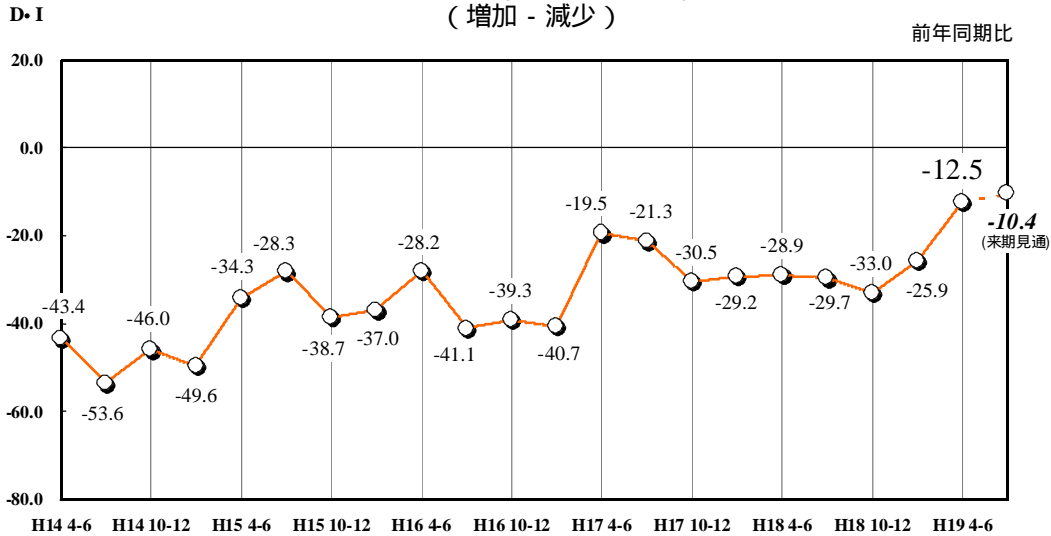
その他（D・I値）

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	12.8	6.5	11.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	5.5	6.9 (今期比)
短期 "	-----	1.4	5.8 (今期比)
商品在庫数量	18.0	-----	14.5 (前年同期比)

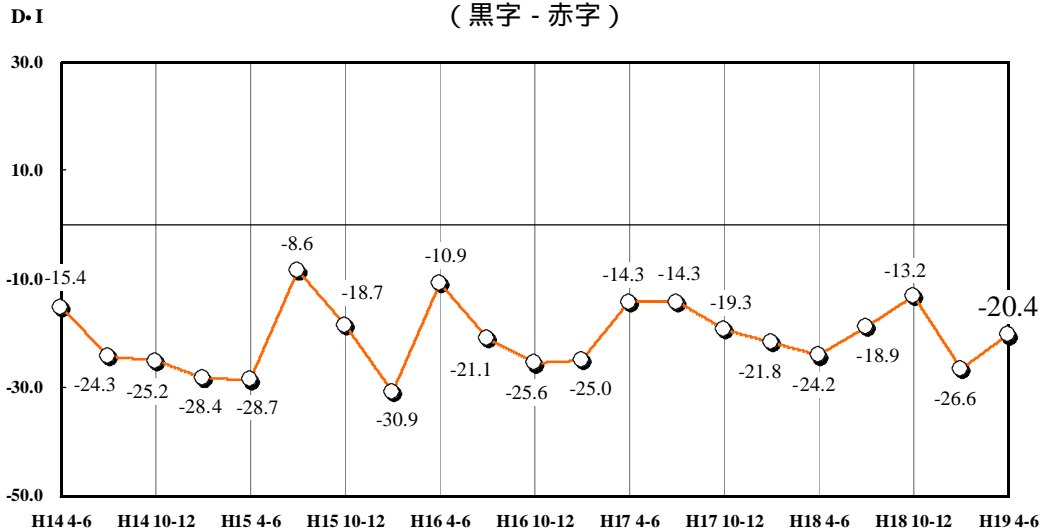
(4) 小 売 業



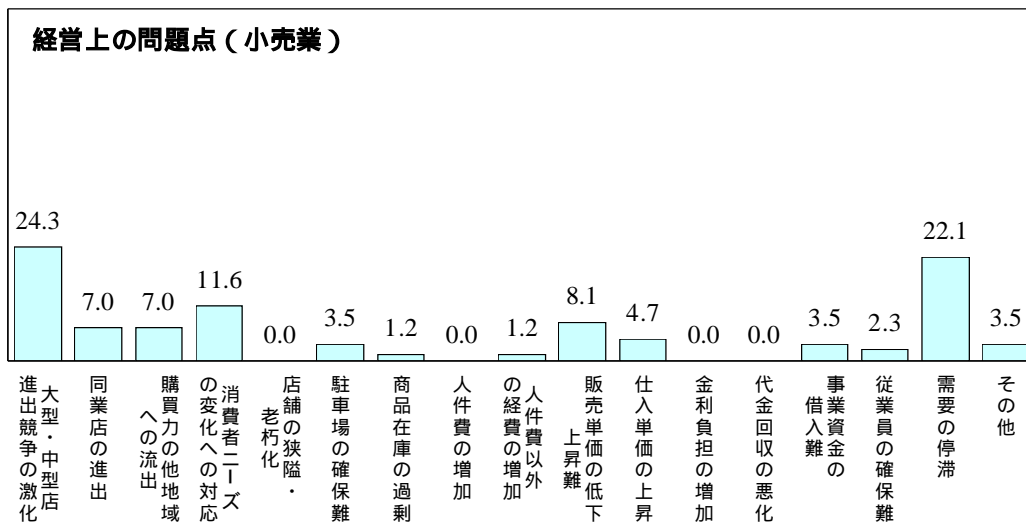
売上高(小売業D・I)
(増加 - 減少)



採算(小売業D・I)
(黒字 - 赤字)



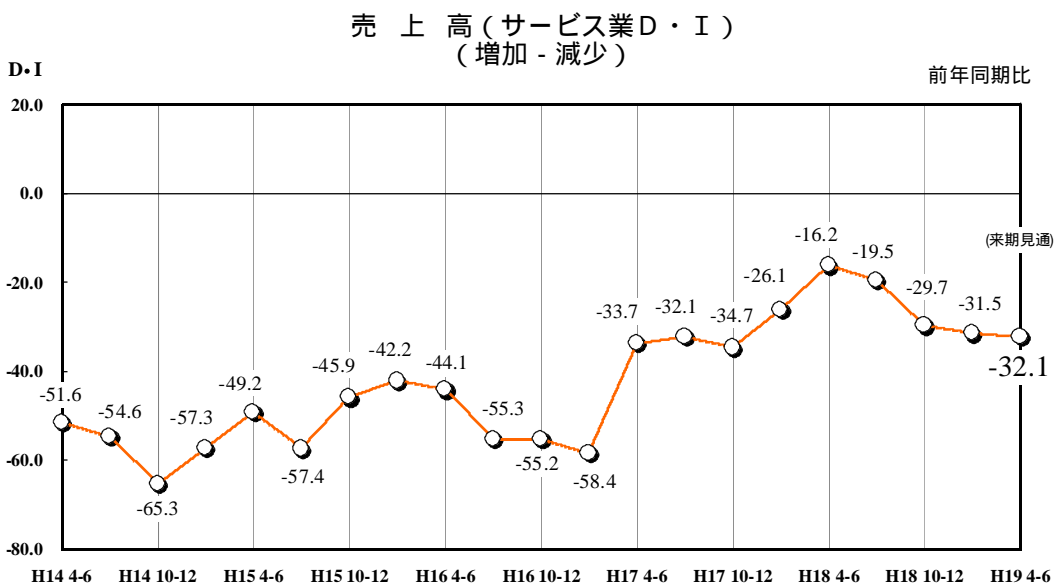
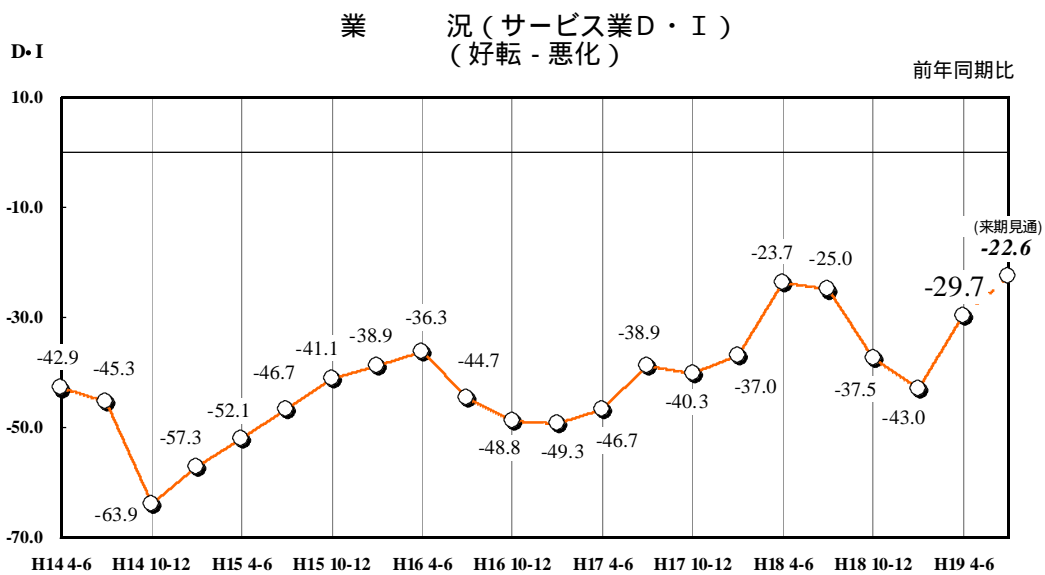
経営上の問題点



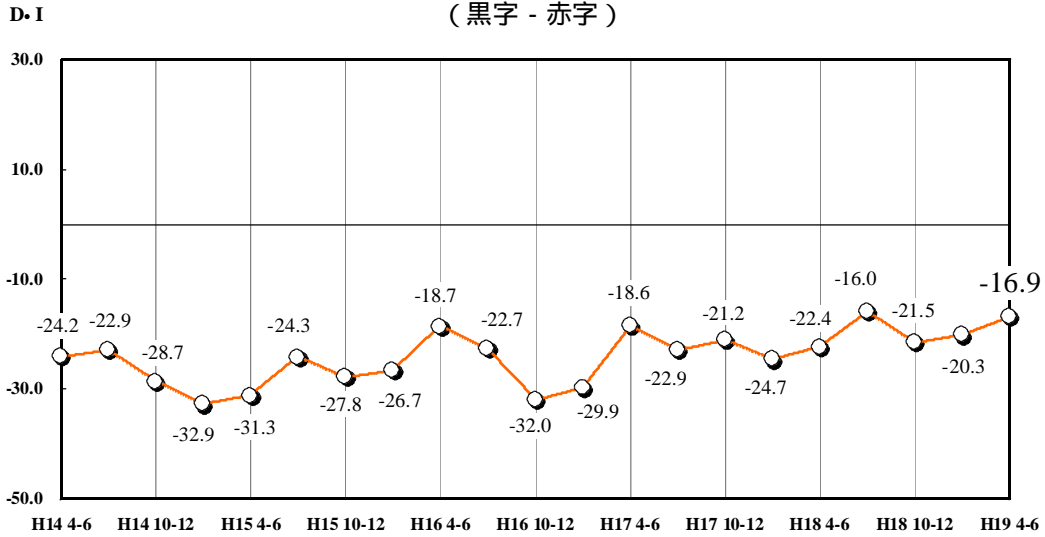
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	17.0	16.1	17.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	7.1	9.7 (今期比)
短期 〃	-----	10.1	8.9 (今期比)
商品在庫数量	17.7	-----	11.5 (前年同期比)

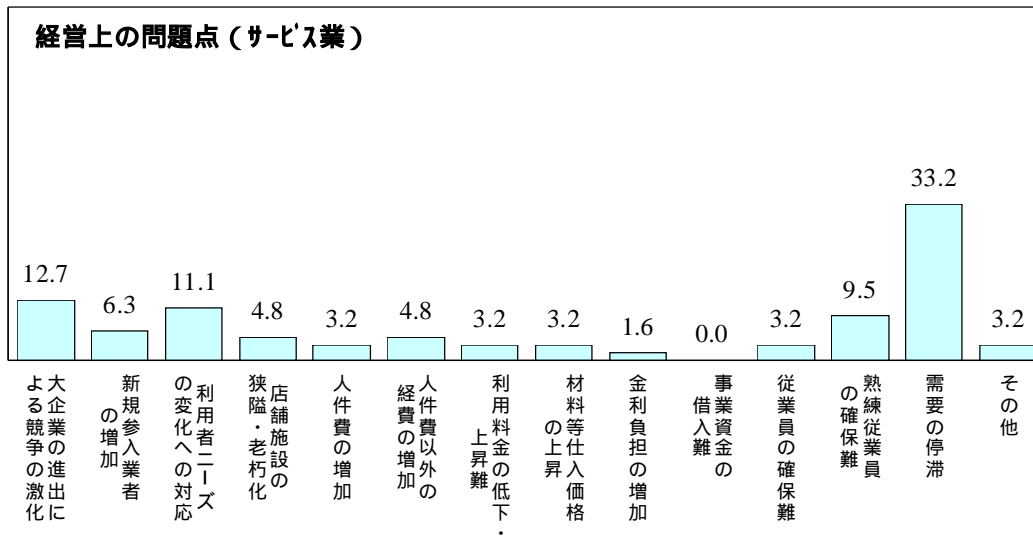
(5) サービス業



採 算 (サービス業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	17.8	15.1	9.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.1	12.7 (今期比)
短期 "	-----	15.6	13.5 (今期比)
利 用 客 数	23.4	10.4	16.9 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成19年 4月～6月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	11.5	29.5	59.0	-47.5
生産に対する原材料在庫	5.3	89.4	5.3	0.0
売上に対する製品在庫	7.5	88.7	3.8	3.7
採算(経常利益)	14.8	55.7	29.5	-14.7
引合	5.2	43.1	51.7	-46.5
生産設備	18.3	75.0	6.7	11.6
従業員(含臨時・パート)	11.5	83.6	4.9	6.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成18年 4月～6月)に比べて				前期(平成19年1月～3月)に比べて				前年同期(平成18年 7月～9月)と比べた 来期(平成19年 7月～9月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売上(加工)額	19.7	14.8	65.5	-45.8	27.1	35.6	37.3	-10.2	13.3	43.4	43.3	-30.0
B 売上(加工)単価	14.8	52.4	32.8	-18.0	6.7	71.6	21.7	-15.0	8.3	58.4	33.3	-25.0
C 売上(加工)数量	21.3	11.5	67.2	-45.9	25.4	40.7	33.9	-8.5	16.9	37.3	45.8	-28.9
D 資金繰り	5.0	46.7	48.3	-43.3	5.1	62.7	32.2	-27.1	1.7	62.7	35.6	-33.9
E 輸出入額	33.3	66.7	0.0	33.3					12.5	87.5	0.0	12.5
F 原材料仕入単価	77.6	22.4	0.0	77.6					73.6	24.6	1.8	71.8
G 原材料在庫数量	5.5	65.4	29.1	-23.6					1.9	68.5	29.6	-27.7
H 製品在庫数量	5.8	65.4	28.8	-23.0					3.9	68.6	27.5	-23.6
I 採算(経常利益)	16.4	29.5	54.1	-37.7					16.7	40.0	43.3	-26.6
J 従業員(含臨時・パート)	6.7	76.6	16.7	-10.0					3.4	74.2	22.4	-19.0
K 外部人材(請負・派遣)	10.0	70.0	20.0	-10.0					6.5	80.6	12.9	-6.4
L 設備操業率	8.6	48.3	43.1	-34.5					12.7	52.8	34.5	-21.8
M 引合	12.5	41.1	46.4	-33.9								
N 受注残	5.7	49.0	45.3	-39.6								
O 業況(自社)	14.8	36.1	49.1	-34.3	16.7	40.0	43.3	-26.6	10.0	48.0	42.0	-32.0
	前年同期(平成18年 4月～6月)に比べて				前期(平成19年1月～3月)に比べて				今期(平成19年 4月～6月)と比べた 来期(平成19年 7月～9月)の見通し			
P 受取手形期間					5.1	94.9	0.0	5.1	4.9	92.7	2.4	2.5
Q 長期資金借入難度					7.3	87.2	5.5	1.8	7.1	87.5	5.4	1.7
R 短期資金借入難度(含手形割引)					7.5	88.7	3.8	3.7	5.5	90.9	3.6	1.9
S 借入金金利					41.5	56.6	1.9	39.6	30.9	69.1	0.0	30.9

↗ : 増加 ↗ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	13.1	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	50.0	0.0	12.5	86.9
来期	18.0	0.0	9.1	54.5	0.0	9.1	18.2	0.0	27.3	82.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.6	8.9
新規参入業者の増加	1.8	5.4
製品ニーズの変化への対応	3.6	16.1
生産設備の不足・老朽化	1.8	16.1
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	28.5	69.6
原材料の不足	0.0	1.8
人件費の増加	1.8	16.1
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.8	14.3
製品(加工)単価の低下・上昇難	14.3	44.6
金利負担の増加	0.0	7.1
取引条件の悪化	5.4	12.5
事業資金の借入難	0.0	3.6
従業員の確保難	0.0	1.8
熟練技術者の確保難	0.0	3.6
需要の停滞	33.8	51.8
その他	3.6	3.6

3. 卸 売 業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成19年 4月～ 6月)の水準			
	↗		↘	D・I
業 況 (自 社)	7.6	50.6	41.8	-34.2
売 上 対 する 商 品 在 庫	20.5	75.7	3.8	16.7
採 算 (経 常 利 益)	20.5	52.6	26.9	-6.4
引 合 計	10.8	51.4	37.8	-27.0
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	8.1	81.1	10.8	-2.7

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成19年1月～ 3月)に比べて				前年同期(平成18年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成19年 7月～ 9月)の見通し			
	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I
A 売 上 額	25.6	33.3	41.1	-15.5	38.9	35.1	26.0	12.9	19.7	44.8	35.5	-15.8
B 売 上 単 価	26.9	59.0	14.1	12.8	22.1	64.9	13.0	9.1	31.6	53.9	14.5	17.1
C 資 金 繰 り	7.7	71.8	20.5	-12.8	7.8	77.9	14.3	-6.5	6.6	75.0	18.4	-11.8
D 商 品 仕 入 単 価	47.4	43.6	9.0	38.4					48.7	42.1	9.2	39.5
E 商 品 仕 入 数 量	16.7	46.1	37.2	-20.5					13.2	55.2	31.6	-18.4
F 商 品 在 庫 数 量	11.5	59.0	29.5	-18.0					7.9	69.7	22.4	-14.5
G 採 算 (経 常 利 益)	10.3	60.2	29.5	-19.2					15.8	60.5	23.7	-7.9
H 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	4.0	81.3	14.7	-10.7					2.7	90.5	6.8	-4.1
I 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	3.9	88.3	7.8	-3.9					3.9	88.3	7.8	-3.9
J 引 合 計	8.2	52.1	39.7	-31.5								
K 業 況 (自 社)	16.9	50.6	32.5	-15.6	17.1	61.8	21.1	-4.0	12.2	60.8	27.0	-14.8
	前年同期(平成18年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成19年1月～ 3月)に比べて				今 期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成19年 7月～ 9月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					0.0	98.4	1.6	-1.6	0.0	100.0	0.0	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					5.5	83.5	11.0	-5.5	4.2	84.7	11.1	-6.9
N 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					8.6	81.4	10.0	-1.4	4.3	85.6	10.1	-5.8
O 借 入 金 利					39.2	60.8	0.0	39.2	30.1	68.5	1.4	28.7

↗ : 増加
 - : 不変 (A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変 (L)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (M, N)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	倉 庫	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	19.0	20.0	13.3	26.7	66.7	13.3	26.7	0.0	0.0	81.0
来 期	11.4	0.0	11.1	33.3	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	88.6

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	9.5	17.6
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	1.4	4.1
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	6.8	12.2
新 規 参 入 業 者 の 増 加	1.4	4.1
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	2.7	5.4
商 品 在 庫 の 過 剰	4.1	10.8
人 件 費 の 増 加	0.0	1.4
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	4.1	21.6
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	9.5	40.5
仕 入 単 価 の 上 昇	13.4	44.6
金 利 負 担 の 増 加	1.4	13.5
代 金 回 収 の 悪 化	4.1	14.9
事 業 資 金 の 借 入 難	2.7	9.5
従 業 員 の 確 保 難	0.0	2.7
需 要 の 停 滞	37.5	60.8
そ の 他	1.4	6.8

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成19年 4月～ 6月)の水準			
	↗	↘	↗	D・I
業 況 (自 社)	9.5	41.1	49.4	-39.9
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	18.3	66.6	15.1	3.2
採 算 (経 常 利 益)	15.1	49.4	35.5	-20.4
従 業 員 (含 臨 時・ハ ー ト)	7.0	84.9	8.1	-1.1

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 4月～ 6月)に比べて				前 期(平成19年1月～ 3月)に比べて				前年同期(平成18年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成19年 7月～ 9月)の見通し			
	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I
A 売 上 額	24.0	39.5	36.5	-12.5	27.1	44.8	28.1	-1.0	19.8	50.0	30.2	-10.4
B 客 単 価	15.6	55.2	29.2	-13.6	15.6	58.4	26.0	-10.4	15.6	59.4	25.0	-9.4
C 客 数	16.7	44.8	38.5	-21.8	25.0	44.8	30.2	-5.2	14.6	52.1	33.3	-18.7
D 資 金 繰 り	5.3	72.4	22.3	-17.0	9.7	64.5	25.8	-16.1	5.3	72.4	22.3	-17.0
E 商 品 仕 入 単 価	24.0	57.2	18.8	5.2					18.8	61.4	19.8	-1.0
F 商 品 仕 入 額	24.0	43.7	32.3	-8.3					15.6	56.3	28.1	-12.5
G 商 品 在 庫 数 量	7.3	67.7	25.0	-17.7					7.3	73.9	18.8	-11.5
H 採 算 (経 常 利 益)	8.3	52.1	39.6	-31.3					9.4	55.2	35.4	-26.0
I 従 業 員 (含 臨 時・ハ ー ト)	8.0	81.7	10.3	-2.3					4.6	87.4	8.0	-3.4
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	1.7	93.2	5.1	-3.4					3.2	92.0	4.8	-1.6
K 業 況 (自 社)	8.4	57.9	33.7	-25.3	14.4	52.3	33.3	-18.9	9.5	60.0	30.5	-21.0
	前年同期(平成18年 4月～ 6月)に比べて				前 期(平成19年1月～ 3月)に比べて				今 期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成19年 7月～ 9月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					8.2	76.5	15.3	-7.1	6.0	78.3	15.7	-9.7
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					7.6	74.7	17.7	-10.1	6.3	78.5	15.2	-8.9
N 借 入 金 利					21.7	74.7	3.6	18.1	13.6	83.9	2.5	11.1

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	7.3	0.0	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	92.7
来 期	11.6	0.0	18.2	0.0	54.5	18.2	9.1	0.0	9.1	88.4

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大・中型店の進出による競争の激化	24.3	39.5
同 業 者 の 進 出	7.0	12.8
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	7.0	32.6
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	11.6	31.4
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	0.0	5.8
駐 車 場 の 確 保 難	3.5	5.8
商 品 在 庫 の 過 剰	1.2	8.1
人 件 費 の 増 加	0.0	3.5
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	1.2	12.8
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	8.1	34.9
仕 入 単 価 の 上 昇	4.7	11.6
金 利 負 担 の 増 加	0.0	1.2
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	2.3
事 業 資 金 の 借 入 難	3.5	10.5
従 業 員 の 確 保 難	2.3	10.5
需 要 の 停 滞	22.1	46.5
そ の 他	3.5	5.8

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成19年 4月～ 6月)の水準			
	↗	↘	D・I	
業 況 (自 社)	3.9	57.1	39.0	-35.1
採 算 (経常利益)	9.1	64.9	26.0	-16.9
従 業 員 (含臨時・パート)	7.1	84.3	8.6	-1.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成19年1月～ 3月)に比べて				前年同期(平成18年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成19年 7月～ 9月)の見通し			
	↗	↘	D・I		↗	↘	D・I		↗	↘	D・I	
A 売 上 (収 入) 額	12.8	42.3	44.9	-32.1	29.5	35.9	34.6	-5.1	14.1	48.7	37.2	-23.1
B 客 単 価	3.9	69.8	26.3	-22.4	13.2	67.1	19.7	-6.5	2.6	73.7	23.7	-21.1
C 利 用 客 数	11.7	53.2	35.1	-23.4	20.8	48.0	31.2	-10.4	13.0	57.1	29.9	-16.9
D 資 金 繰 り	1.4	79.4	19.2	-17.8	4.1	76.7	19.2	-15.1	4.1	82.2	13.7	-9.6
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	32.4	63.5	4.1	28.3					32.4	63.5	4.1	28.3
F 採 算 (経 常 利 益)	3.8	57.7	38.5	-34.7					3.9	66.2	29.9	-26.0
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	5.8	69.6	24.6	-18.8					5.9	73.5	20.6	-14.7
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	12.5	75.0	12.5	0.0					6.3	79.1	14.6	-8.3
I 業 況 (自 社)	6.8	56.7	36.5	-29.7	16.2	56.8	27.0	-10.8	10.7	56.0	33.3	-22.6
	前年同期(平成18年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成19年1月～ 3月)に比べて				今 期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成19年 7月～ 9月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					3.1	79.7	17.2	-14.1	3.2	80.9	15.9	-12.7
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					3.4	77.6	19.0	-15.6	3.4	79.7	16.9	-13.5
N 借 入 金 利					29.7	65.6	4.7	25.0	27.4	69.4	3.2	24.2

↗ : 増加
 - : 不変 (A , C , G , H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B , E , N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D , F , I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L , M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サ-ビス設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	12.8	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	50.0	0.0	20.0	87.2
来 期	14.3	0.0	0.0	54.5	18.2	18.2	36.4	9.1	9.1	85.7

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	12.7	23.8
新 規 参 入 業 者 の 増 加	6.3	17.5
利 用 者 ニ - ズ の 変 化 へ の 対 応	11.1	44.4
店 舗 施 設 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	4.8	15.9
人 件 費 の 増 加	3.2	9.5
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	4.8	15.9
利 用 料 金 の 低 下 ・ 上 昇 難	3.2	15.9
材 料 等 仕 入 単 価 の 上 昇	3.2	20.6
金 利 負 担 の 増 加	1.6	6.3
事 業 資 金 の 借 入 難	0.0	9.5
従 業 員 の 確 保 難	3.2	11.1
熟 練 従 業 員 の 確 保 難	9.5	22.2
需 要 の 停 滞	33.2	50.8
そ の 他	3.2	4.8